

第3回 柏市緑の基本計画策定市民懇談会 視察
11月5日(月)タイムスケジュール

- 1 手賀の丘公園 着 9 : 37 ~ 42分
公園視察・トイレ休憩(20分)
出発 10 : 00
- 2 手賀の杜通過 10 : 07分
- 3 中原ふれあい防災公園 着 10 : 30 ~ 35分
公園視察・休憩 15 ~ 20分
出発 10 : 50
- 4 酒井根下田の森 着 10 : 55
公園視察 20分
出発 11 : 15分
- 5 リフレッシュプラザ柏 着 11 : 20
公園視察 20分
食事 11 : 40 ~
出発 12 : 40
- 6 十余二交差点通過 13 : 20
柏の葉公園(調整池兼水辺公園)通過 13 : 40
工業団地通過 13 : 55
- 7 柏ビレジ水辺公園 着 14 : 05
公園視察 20分
出発 14 : 25分
- 8 あけぼの山公園 着 14 : 45
公園視察 15分
出発 15 : 00

9 高田野鳥公園 着 15 : 15

公園視察 15分

出発 15 : 30

10 大堀川リバーサイドパーク 着 15 : 35

公園視察 15分

出発 15 : 50

11 柏市役所 16 : 00

第3回 市民懇談会 視察

H19.11.5

高田野鳥公園



柏ビレジ水辺公園



吉田邸



あけぼの山公園



柏の葉公園
ケヤキ並木



大堀川リバーサイドパーク



酒井根下田の森



中原ふれあい防災公園



リフレッシュプラザ



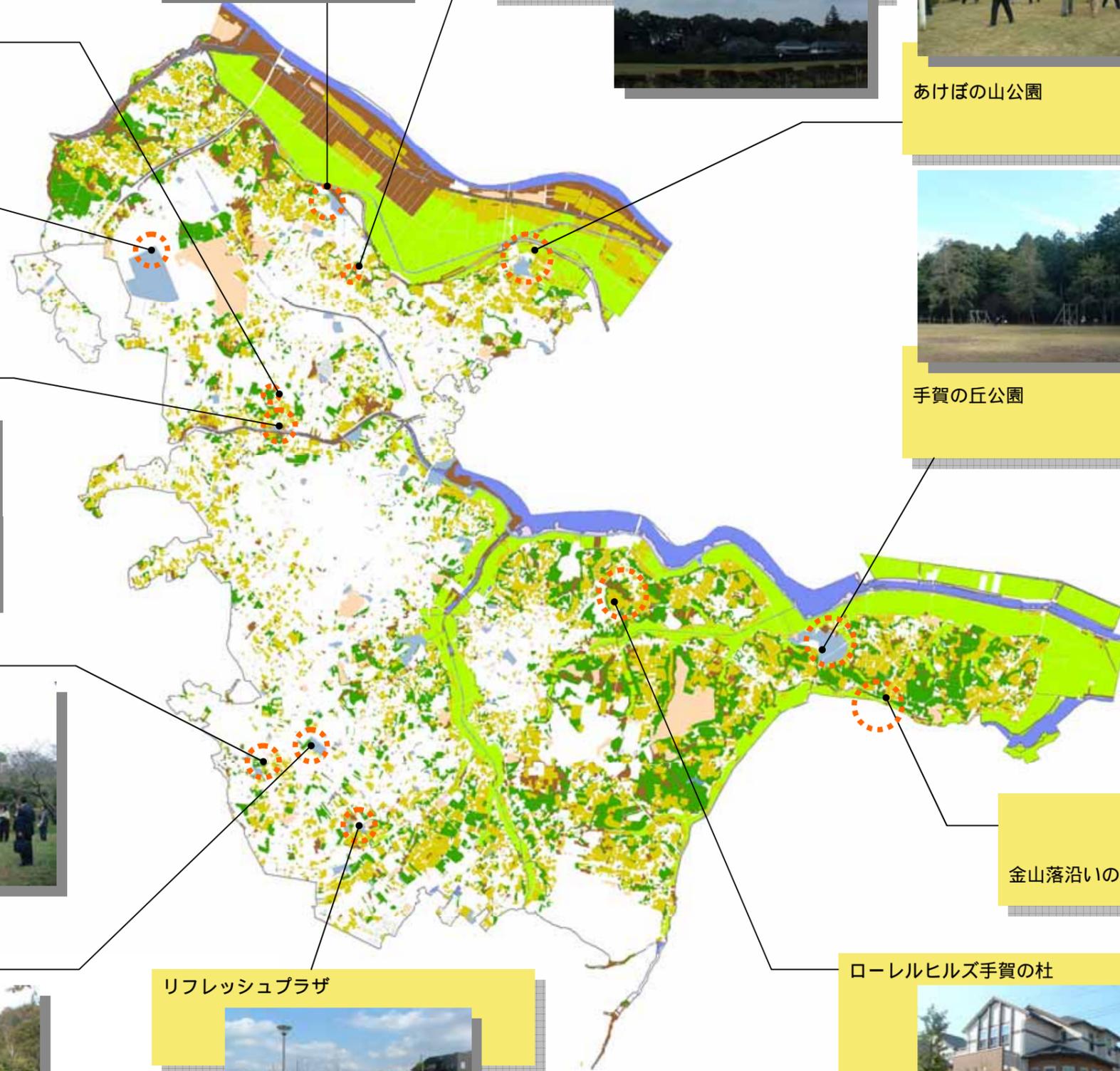
ローレルヒルズ手賀の杜



手賀の丘公園



金山落沿いの斜面林



柏市緑の基本計画策定市民懇談会 視察意見シート（全体版）

本日の視察で印象に残った場所や視察の感想について	これまでの市民懇談会を踏まえ、今後の柏市の緑のまちづくりで考えていくことが必要であると思われることについてお書きください。				
	樹林地や農地などの保全について	公園について	街並みの緑化について	緑に関する意識啓発など	その他
<ul style="list-style-type: none"> 一日かけて主な公園すべてを廻り市の公園の全体像をつかめたのは有意義だった。 手賀の丘公園及び周辺の沼南地区に残されたまだ手付かずの広大な樹林地には、ホッとさせられた。この貴重な自然を大切に持続したい。 柏ビレッジは街路樹をはじめ緑にあふれ感じのいいところで、自然と調和した永年の街づくりの努力が感じられた。 	<ul style="list-style-type: none"> 樹林地の日常的な保全に関しては、色々な市民ボランティア活動も立ち上がり地権者支援の途が出来つつあると思われる。行政による適切な指導、仲立ちをお願いしたい。 相続税に対する対策なしに樹林地の保全は不可能と感じるが、猶予措置の見通しは明るくはない。税額が膨大なだけに、これを助成するためには行政上のアイデアとともに市民有志の基金、市民債、更には森林保全税といった負担までのすべてを活用していくことが必要ではないか。特に市民債と保全税については今回の基本計画策定を機に市の検討課題として明確に位置づけていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園をつくる場合、郊外にしろまち中にしろ今ある自然の由来を尊重し出来るだけ手を入れずにそのまま公園にするのがベスト。 高田野鳥公園は貴重な生物区なのだろうが鉄条網で囲まれたままでは味気ない。貴重種を保持しながら市民が親しめる場所になるよう知恵を絞って欲しい。 大堀川から沼南道の駅まで繋がる柏市が誇れる大遊歩道沿いに、日陰で憩える並木が出来ればなおすばらしいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 市街地の街路樹は一部にすばらしいところがあるが概して貧弱である。山林が減少する中でまち中の木々はその重要な代りをなすものであり、現在の緑の基本計画にある通り積極的に推進して欲しい。特に新規住宅地開発には今以上の植樹を規定して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内緑地探訪コースの紹介や市民参加の市内緑地バスツアー（今回のような駆け足でなくゆったりしたもの）をやって欲しい。 市内には沼南東部や利根運河沿いの地区等にまだまだ大自然が残されており、もっと多くの市民にこれを楽しんでもらいたい。それが緑の理解にも繋がる。自然を毀損しないウォーキングコースを指定して積極的にPRしてほしい。 森林の持つマイナスイオンや熱緩和等の効果を市民が測定し実感する試みをやってみてはどうか。 	
<ul style="list-style-type: none"> 最後に視察した大堀川リバーサイドパークが最も印象に残った。大堀川の遊歩道が手賀沼と通じたことを伺い非常に良かった。手賀沼と大堀川が一体となったことにより、大堀川遊歩道の魅力が格段に増したと感じた。健康のため遊歩道から手賀沼を一周してみたい。桜の木も年々の成長が楽しみ。 あまり人の手を加えずに昔の里山のままだに残そうとしている酒井根下田の森など視察した緑ごとに特徴がありそれぞれに良さがあった。 市役所や地域住民、協議会のかたの継続的な尽力により緑の環境が保たれているということを強く実感した。 	<ul style="list-style-type: none"> 相続時の売却や物納は避けられず、また市が買い取るにも財政的な負担が大きいため難しい問題である。緑地の保全に貢献しているかたを名誉市民として表彰するなどの方法も必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 常に快適で居心地の良い環境・空間であって欲しい。近隣利用者を中心とした清掃活動を推進してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 年々都市化が進み緑が減って集合住宅や戸建住宅が建築されることは避けられないことであるが手賀の杜のように環境に配慮するコンセプトのはっきりした住宅街を増やすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の参画する協議会方式による運営をもっと推進すべきと思う。活動に参画することにより環境に対する意識も高まると期待される。 	
<ul style="list-style-type: none"> 視察自体は、柏の現況を知る上で非常に有意義だった。 旧沼南の斜面林のような民有地、市街地から離れたところにある市民のレクリエーションに供する公園、市街地のど真ん中にあり日常の市民生活と密接に繋がっている公園、いろいろなタイプの公園、緑地を見ながら、あらためて、柏の魅力を感じもっと素的な街にしたいと思った。市民懇話会発足後、すぐにこの視察が持たれた方がもっと良かったのでは。 緑の保護地区や緑の広場に指定されながら、開発されてしまった事例もあってよかったのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> 荒廃を防ぐため、維持管理が保有者だけの負担にならないような、地主・市民・行政が役割と費用を分担しながら、監理して行くシステムの構築と導入。 相続発生時を予測したなんらかの手立て 市民債券の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 市街地から離れた所に位置し広い面積を持った公園(手賀の丘公園、あけぼの山公園など)、市街地のど真ん中にあり、日常の市民生活に供する公園(中原ふれあい防災公園 大堀川リバーサイドパーク)、豊かな生態系を持ち自然観察などに給する緑地(高田野鳥公園 酒井根下田の森)など、公園緑地の持つ機能と使われ方を考えながら、地域のバランスよい配置が必要だと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> 開発の中で、提供される緑地の少しでも増やす工夫 既存の樹木を伐採しない工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 不特定多数の市民が、単発的でも緑地や公園の維持管理に参加できるようなことが必要。みどりの保全には、維持管理の継続的なシステムが不可欠だが、その中に、不特定の市民が単発的に参加したり、学習できる工夫があると良いのでは。身を持って体験する機会を多くつくるのが、重要。(例 クリーンデイをもう一工夫するとか、緑の維持管理する市民団体に呼びかけ一定の助成をするなど) 	
<ul style="list-style-type: none"> あけぼの山公園ー桜、チューリップ、ヒマワリ、コスモス等県下の名勝になった。 緑と公園について改めて認識を深めた。現在残されている場所は財政・資金面で課題はあるが是非保存されることを期待し充実してほしい。 大変よかった 	<ul style="list-style-type: none"> 特に農地については自給自足、食料確保のため、農地が維持できる政策が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の憩いの場、健康づくり、いやし等の場として充実してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> まち中は困難なケースが多いが、可能な限り工夫をして緑化を。 	<ul style="list-style-type: none"> 緑の効果・効能をあらゆる機会を通してPR 	<ul style="list-style-type: none"> 沼南地区の現況も多少わかり勉強になった。

本日の視察で印象に残った場所や視察の感想について	これまでの市民懇談会を踏まえ、今後の柏市の緑のまちづくりで考えていくことが必要であると思われることについてお書きください。				
	樹林地や農地などの保全について	公園について	街並みの緑化について	緑に関する意識啓発など	その他
<ul style="list-style-type: none"> 手賀の丘公園—はじめて来たが、素晴らしい公園で感激した。家族にも紹介したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ゴミの不法投棄 	<ul style="list-style-type: none"> メダカ等、子どもたちが喜び動植物に接することができる公園 	<ul style="list-style-type: none"> ケヤキ、スズカケ、桜など、松葉のバス通りは素晴らしいが木の根っこが張りすぎ歩道がでこぼこの状態 	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと協議会で手賀の丘公園、中原ふれあい防災公園、酒井根下田の森などの見学会を企画したい。 	<ul style="list-style-type: none">
<ul style="list-style-type: none"> はじめての場所は1箇所であったが緑の観点で見るとおもしろい。 中原ふれあい防災公園—憩いの場となる公園と緊急時の機能を備えた防災公園が印象的。今後の公園のあり方を考えさせられた。 視察によって自分の地域ではない緑資源が把握できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 旧沼南地区と旧柏地区では今後の方向付けが異なると考えられる。 樹林地の不法投棄や管理 鎮守の森を大切にしていけるための施策 	<ul style="list-style-type: none"> 今後つくるのは大型公園でない公園をつくる方が望ましい。 自然、憩いの場そして管理（手入れが行き届いていないと公園とはいえない） 現存の緑、水辺地をいやしとしての公園にできないか（大規模でなくてもよい） 大規模として考えるのであれば防災公園が各地域に必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園並み（常盤平）のものをつくるのが望ましい。 街路樹が植えられた整備（道路）についての配慮 年々減少していく緑 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが緑に対して気付き、大切にする気持ちを意識させる。 子ども（小学生）の頃から自然とかかわる場を増やす（植樹等） 	<ul style="list-style-type: none"> 緑を守るにはボランティア団体・活動が不可欠という実態を知った。
<ul style="list-style-type: none"> 酒井根下田の森 高田野鳥公園 	<ul style="list-style-type: none"> 行政だけでなく住民も一丸となって考えなければと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市部にはお金がかかった素晴らしい公園が多くあることがわかった。それを維持する行政も大変。 住民も維持管理について考えるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市部と農村部は異なるが都市化すればするほど地区住民も考えなければならぬと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 	<ul style="list-style-type: none"> 先祖の代より純農村地帯に住む者としてはとても難しい問題であると思う。
<ul style="list-style-type: none"> 柏ビレジ水辺公園—住宅の近くでよいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> 樹林地を他の市民が利用できる緑地として開放する。 農地を市民が利用できる農園などとして開放する。 	<ul style="list-style-type: none"> 行政が管理するものではなく市民や事業者が所有し管理する。 	<ul style="list-style-type: none"> 騒音をやわらげる 個性やうらおいのある景観 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然として人間だけでなく動植物の生態系を支える基盤として、大気の浄化、生活にやすらぎを与え、レクリエーションの場 	<ul style="list-style-type: none">
<ul style="list-style-type: none"> 酒井根下田の森 柏ビレジ水辺公園 	<ul style="list-style-type: none"> 相続がらみで売却される恐れがあり市民一人ひとりに啓発し1坪オーナー、公債の発行などの検討も必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災公園をとりいれた公園の整備が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 役所まかせでなく住民も協働で緑化していく姿勢が望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回のような視察を市民レベルで実施してはどうか。PRも兼ねて 	<ul style="list-style-type: none"> 市内の緑のウォッチングを2・3回実施してから懇談会を開いた方が問題提起、改善など多くの意見が出るのではないかと思った。
<ul style="list-style-type: none"> 宅地開発に対して行政の意向が大きく反映されてきていると思うがまだ手ぬるいと思う。 売地がますます細くなり緑地面積が家の周囲に一線程度のもので不十分である。視察した場所でも課題が山積しているようで今後このままの状態が続けられるのかどうか心配になった。 	<ul style="list-style-type: none"> 休耕田の利用を考える（緑地としての管理） 地権者とのパイプ役を行政が果たすことで市民管理の道が可能となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 芝、ベンチ、水道のある公園は不要で樹木のある公園づくりを目指してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 電線との調和が必要と思うが並木道をつくるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会等を通じた自然に対するイベントを企画・実施し住民（子供会）の意識を「緑に参加」させる運動を（親子三代運動会は不要） 	<ul style="list-style-type: none"> 落ち葉をゴミとする意識が出てきているが、この辺から緑を不要とする意識が出てきているのでは（落ち葉に限り焼くことを認めるべき）
<ul style="list-style-type: none"> 今回見学した施設はそれぞれ特色があり素晴らしい。 特に柏ビレジ水辺公園—地盤沈下が生じていること、湖水周辺に樹木の広がりほしい。散策し体を動かし憩う広場がほしい。民間開発に伴う調整池を目的としていることが残念。 	<ul style="list-style-type: none"> 樹林地等がどうしたら残せるのか。単に相続税を軽減すればということばかりでなく専門家の意見をききたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 経費をかけて石張りしたり、いろいろな施設をつくり高価な樹木を植栽した公園は大名家の庭園を思い出す。 柏の2、3百年続いている寺社の境内林が相当残っているなのでその保全を真剣に考えるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 最近、街路樹が相当整備されてきて結構なことだと思うが手入れされていないところも多いように思う。信号が見にくいところも散見された。 	<ul style="list-style-type: none"> 緑に関する市民の意識は相当高まっている。意識啓発の段階を超えて保全への市民の参加が可能な措置を考えるべき。理念から実践の段階である。 	<ul style="list-style-type: none"> 「里山を守る会」の一員として、①山林・農地・空地等にゴミや廃棄物が投棄されていること②山林の下草刈り等において野焼きができないこと、が困っている。緑を守る一環として取り上げてほしい重要なことであると思う。

本日の視察で印象に残った場所や視察の感想について	これまでの市民懇談会を踏まえ、今後の柏市の緑のまちづくりで考えていくことが必要であると思われることについてお書きください。				
	樹林地や農地などの保全について	公園について	街並みの緑化について	緑に関する意識啓発など	その他
<ul style="list-style-type: none"> 全体的に整備された地域であったので次回は是非市内山林の問題地を視察したい。 東急タウンの貯水池が周辺の森林のバランスが大変良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 農地の特例並みの税の優遇措置の実現 樹林地・農地の経済的価値の数値化 	<ul style="list-style-type: none"> 宅地開発等により決まった公園づくりではなく必要な地域に大型の自然公園づくりを望む。 落ち葉、雑草が十分にあり昆虫・小動物等も棲んでいる自然公園 夏場の除草、手入れは従来よりも期間をあけても良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 街路樹、生垣などの樹木の統一化を図る。 街路樹はもう少し自由にさせるべきか、剪定のしすぎか。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然の大切さを啓発する以前に自然を粗末にしない。 不法投棄等、自然破壊につながる行為の取り締まり 	<ul style="list-style-type: none"> 里山文化の育成、里山はほどほどに手入れして樹木があることに不便を感じながら緑との共生を図る。
<ul style="list-style-type: none"> 緑を意識しながら柏市を全体的に見るのははじめてであったので大変勉強になった。 酒井根下田の森ー1.7haと小さい緑地であるが酒井根の一角によく残ったものだと感心した。あのような場所がもっと広くほしい。本来手賀地区などは地主がしっかりと手入れ管理できればたくさんの緑が荒れることなく残せるであろうが手賀地区では荒れた休耕地が多く見られた。 公園には芝生が少なかった。芝生は樹木の保護には大切であるので、挿植やマルチング、芝生で樹木を保護することが必要である。 今回の視察は柏の良い所、モデル地区であったが、市として困っている場所を市民の目で見ることの良いのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> 農家の高齢化があるので農地の保全は難しいが乱開発の防止はできる。「手賀の杜」は緑の保護という面で考えたとき、どれほど緑が犠牲になったことか。 地球温暖化防止に協力する緑地や樹林には税の軽減や免除も必要ではないか。NPO や里山のボランティアの力を借りるだけでは限界がある。しっかりと労働力の確保と予算化が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 少しでも広い公園をたくさんつくる、公園には芝生を植える。 CO2 を削減するためにも上はコンクリート化せず芝生を植えるべきである。中原ふれあい防災公園、柏リフレッシュ公園、大堀川リバーサイドパークなどは芝生が良く管理されていた。日本芝が丈夫で良い。学校なども校庭を芝生化しているが地球温暖化防止の視点からも緑化は絶対に必要である。その点からも公園の持つ役割は大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しくできるまちはほとんどが街路樹を植えているが基準値ぎりぎりである。特に公共の場に植えられた樹木の管理は苦情ばかり寄せられるが、緑を守る立場のものは平気で管理していかなければならない。やがては人にかえってくると確信する。 街路樹は、下枝があまりでないもの、根が道路を傷めないもの、風に弱いもの、などの工夫が必要である。また電線を地下に埋設することが樹木にとって良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 柏市でも屋上緑化を働きかけてもよいのではないかな。リフレッシュプラザの屋上部分の緑化は貧弱であったが低木常緑の花木などを工夫してアピールしてはどうか。 イベントや内容の充実を期待したい。学校への緑に関する出前授業の宣伝も効果がある。東大にも協力してもらってはどうか。啓発のパンフレットなどがあるとさらに効果があると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 大堀川と大津川のきれいさの違いがあるが、きれいであれば捨てたいゴミも持ち帰る、みんなが大堀川に関心を持つとゴミは減る、人々が気持ちが悪くなれば自然を大切にしよう。 そこまでルールを敷くこと、それにがんばることが私たちの仕事である。
<ul style="list-style-type: none"> 染井入落に沿った斜面林、手賀沼に沿った斜面林は残しておきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 樹林地や農地を市有地として買い上げができれば問題はないが現在の財政状況では困難である。民有地を緑地や公園として保全しても相続が発生すると手の打ちようがない。これを解決しないと計画倒れになりかねない。最も困難な問題である。 	<ul style="list-style-type: none"> こんぶくろ池や増尾城址公園は広域公園として大きな意味を持っている。旧沼南地区も手賀の丘公園のほかにもう1箇所くらい水辺のある総合公園がほしい。今後開発が進むと難しくなる。今がチャンスではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 市街地については街並みに緑化を進めたい。あまり大きな計画でなくてもできることから、できるだけ緑化で良いのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民に対する啓発は是非とも必要である。まずは「広報かしわ」に柏の緑という欄をつくり毎月市民にアピールするのも良い。 環境ステーションも毎月連載することで市民からの問い合わせや参加も多くなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 緑を増やすことはCO2の削減にもつながり地球温暖化防止に対する市民の意識の高まりとともに緑に対する意識も高揚してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 柏ビレジ水辺公園ーこんなにすばらしい池があるのに釣りができないのは子どもたちはつらいのではないかな。休日ここに来る人は何をしているのか。大雨のときの水対策はポンプか。 	<ul style="list-style-type: none"> 最近桜の植樹はあるが他の樹木はどうか。 道路わきのポイ捨てが多い。雑木林の下草刈りが必要である。 使用していない農地は市民に使用してもらおうことも考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 犬を公園に入れない方法を考えたい。大きな公園であれば一角を専用にする。 公園の砂場の消毒・交換が必要である。 大人も子どももゆったりとした気分で過ごす公園、花壇をつくり、実のなる樹木、気分をさわやかにする樹木をつくる。 町会にある公園をボランティアを募り管理する。 	<ul style="list-style-type: none"> 落葉樹よりも常緑樹植える。サクラ、カエデ類、イチヨウなどは定期的に喜ばれるが秋から冬にかけては掃除が大変である。地球温暖化防止のためにも一年中CO2 を取ってくれる常緑樹を植えるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅などを建てる確認申請のときに、緑を残す、自然を壊さない、景観を考えるとということを指導する。 南部公園で花壇づくりを行っているが公園やまちなかを通るときにどのような木や花があるか見て参考にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年から緑の基金でプラントナーなどの無料サービスが開始されたが近隣センターに資料をおいてあるのは南部ではまだ1件しかない。 生垣の補助はこれまで何件くらいあったのか。
<ul style="list-style-type: none"> 柏市において年々山林、田畑は減少し宅地が増加していることが見学して実感した。 緑地については計画の中で位置づけ・ランクづけし、特徴や所有者、管理者、管理状況について現状と目標などをマップに落とししていくとわかりやすいのではないかな。 計画の内容について市民に積極的に情報提供し関心や興味をそそり市民との協働による計画の実現が望ましい 手賀沼周辺の広大な自然は課題が多いようであるが知恵を出し合ってよい管理をし保全したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 樹林地の保全 ①維持管理マンパワーー 森林学講座を開催し森林管理ボランティアを養成し維持管理を市民と協働で行う(きれいにし多くの人目が届くことでゴミの不法投棄防止) ②維持管理経費 農地の保全 ③高齢化、後継者問題、休耕地の利用 サラリーマンをリタイヤした人や転職者などに農業講座を実施し農業従事者を募る。農業後継者養成(千葉県農業大学校、同大学研修科)。小学生や市民に体験農場 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者や幼児に優しい公園(街区公園・近隣公園)整備 木陰用樹木、ベンチ、トイレ、水道を備える。すべての公園のトイレを障害者も利用できるものに。 	<ul style="list-style-type: none"> 屋上や壁面緑化の推進、奨励 計画的な宅地造成と街並み自主規制 自然を破壊して宅地造成しても計画的に植栽し公園や水辺をつくることで松葉町、柏の葉、柏ビレジのように数十年たつと緑豊かで落ち着いた街並みになることを実感した。(破壊した自然は戻ってこないが) 	<ul style="list-style-type: none"> 計画の内容について広報紙やかしわシティネット等を使って市民に積極的に情報提供し関心や興味をもってもらい市民との協働による緑の保全・計画の実施をすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ①緑に関して貢献した市民を顕彰する制度 ②リフレッシュプラザ柏について建物内の植物は必要なのか。屋外の公園の植樹は少ない。最上階のフロア緑化のCO2削減効果は。イニシャルコスト・ランニングコストの費用対効果は(事業(ハード・ソフト)の計画段階からの市民参加を)

本日の視察で印象に残った場所や視察の感想について	これまでの市民懇談会を踏まえ、今後の柏市の緑のまちづくりで考えていくことが必要であると思われることについてお書きください。				
	樹林地や農地などの保全について	公園について	街並みの緑化について	緑に関する意識啓発など	その他
<ul style="list-style-type: none"> 計画の実施状況は年次報告（白書）を作成し随時計画の見直しが必要ではないか。 	<p>として提供。（低農薬、有機栽培を推奨。地産地消として給食食材に。生産者と消費者の顔の見える農産品の直売・宅配）④相続税と樹林地・農地の保全</p>				
<ul style="list-style-type: none"> 柏市の骨格の緑の形成、その中で開発に対する指導・誘導は更に強化することが大切である。 特に拠点の緑については、柏市が早急に地域特性・生態系・自然植生等に配慮した樹林等の保全・復元・整備の具体的な施策を提示し、所有者・市民・行政が一体となって取り組めるように進めるべき。 その具体例として、酒井根下田の森緑地は、酒井根下田自然拠点の30%（1.7ha）を都市公園法に基づく都市緑地として都市計画決定しているにすぎない。柏市南西部の市街地に唯一奇跡的に残った緑のダムとも言える、里山の原風景をとどめる景観・古民家・極相樹林・200m余の野馬堀・豊富な湧水群・フクロウ・カワセミ・ハイケボタル・オニヤンマ・サワガニ・カントウタンポポの群落など棲息する動植物の多様性でも貴重なこの自然拠点全域を、所有者の理解の下に、都市公園法・都市緑地保全法・生産緑地法等を駆使し、自然の博物館として恒久的に保全・整備すべく、早急に具体的施策を講ずるべき。 次の具体例として、中原ふれあい防災公園隣接の樹林については、防災上も公園の緑と一体となるよう公有地化することが必要である。そのための施策の一例として、長期償還の市民債の活用と市民有志を発起人とするトラストの組み合わせ施策を検討すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 山林管理支援制度・生産緑地・納税猶予等を積極的に活用する。 収益林としている場合を除き、自然植生に十分配慮した保全・管理とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然植生・樹種の特性を活かした選定をし、剪定等の費用負担を多少でも減らすようにする。 樹種は偏ったものとならぬよう、積極的に多様化を進める（ソメイヨシノだけがサクラではない）。 犬などのペット専用公園の指定をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 緑化協定締結のハードルを下げる検討もしながら、住宅地の緑化協定地域を広げる。 生垣の積極的な奨励（税の一部減免、又は補助金の検討）。 全市的な雨水浸透柵の設置（同上） 保護樹林樹木の指定は、長期的展望と特性等を重視して行う。 公共施設、特に学校の樹林による緑化を先導的・積極的に進める。 社寺、私学、事業所等と緑化協定を締結し、緑化を義務づける。 	<ul style="list-style-type: none"> 市報を積極的に活用し、継続的発信に努める。 緑陰・落葉・それらの除去処分等は人に害を与えるだけでなく、サイクルの一環として必要不可欠であることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ナショナルトラストなど、市民が取り組める緑の保全の具体策についても提示し、必要に応じては支援する。 市民債の活用を具体的・重点的・戦略的に研究検討し、実施する。 市民に解り易く取り組み易い「ふるさとの森づくり作戦」を展開する（参考例 宮脇昭氏の提唱する鎮守の森にみるドングリの森づくり）。